

9 商業

科目名	簿記	単位数	2	学年	第2学年	科	総合ビジネス科
						コース	全科
使用教科書	実教出版「新簿記」			副教材		問題集「最新段階式簿記検定問題」 2級	

学習の到達目標

1年次の簿記の基礎を踏まえてさらに上級（検定2級）の合格を目指し理解を深めていく。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	帳簿 ①帳簿の種類②帳簿の形式 3伝票制による記帳 ①証票②伝票③3伝票制	1. 複式簿記の帳簿の種類を体系づけて理解させる。 2. 帳簿組織を業務の分担として考えさせる。 3. 帳簿の体裁及び帳簿に関する法規を学習させる。
	5	決算1 決算整理その1	1. 決算整理の必要性を理解させる。 2. 決算整理事項の内容を理解させ、その仕訳、処理の方法に習熟させるため、十分な時間を配当する。 3. 8けた精算表の作成にあたり、段階的に指導し、その習熟のために丁寧な指導を心がける。
	6	①貸し倒れの見積もり ②減価償却費の計算と記帳③引出金の整理	
	7	④8けた精算表 ⑤損益計算書 ⑥貸借対照表	
二 学 期	9	特殊な取引の記帳 ①特殊な商品売買の記帳（未着商品 積 送品）	1. 未着商品売買・委託販売・割賦販売に関する取引について、内容を理解させ、正確・明瞭に記帳する能力を養う。 2. 手形の書き換え、不渡手形、荷為替、手形の二次的責任に関する取引についてそれぞれの内容を理解させ、正確・明瞭に記帳する能力を養う。 3. 個人企業を前提とした、同一企業内の本店及び支店がそれぞれ独立した会計を行う場合の学習することを理解させる。
	10	特殊な手形取引の記帳 ①手形の書き換え②不渡手形③自己受け 自己宛手形④荷為替	
	11	本支店会計 ①本支店間の取引 ②本店集中計算制度	
	12	会計処理の合理化 ①特殊仕訳帳②普通仕訳帳 5伝票制による記帳	
三 学 期	1	決算整理（その2） ①減価償却費の間接法による記帳②消耗 品の処理③費用・収益の見越し 繰り延 べ④有価証券の評価替え⑤2区分の損益 計算書・貸借対照表⑥本支店合併貸借対 照表・損益計算書	1. 決算整理として、間接法による減価償却の意味と処理の仕方、および有価証券の評価を理解させ、正しく記帳する能力を養う。 2. 費用・収益の見越し、繰り延べの処理法を理解させるとともに、期間損益計算の基本を理解させる。
	2		
	3		

学習評価

定期試験及び課題の提出状況、検定の可否により評価する。